

事務事業 No./名称	□サービス部門 経企-07 秘書・式典事務 ■支援部門						
主管課	秘書広報課	関連課					
分野名	行財政運営						
目標 (目標値)	新春のつどいの適正負担。交際費の適正な運用。超過勤務の縮減。						
人口等の データ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備考		
	人口	177,224人	177,204人	177,161人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯			
事業の対象者数							
運営資源 状況	決算値(千円)	14,874	8,219	7,338			
	(国・県)						
	(負担金等)	2,819	315				
	(一般財源)	12,055	7,904	7,338			
	人員配置数	4.0	4.0	4.0			
	人件費(千円)	32,456	34,919	34,921			
事務事業 運営経費	協働の パートナー						
	総事業費(千円)	47,330	43,138	42,259			
	市民1人当 りの経費(円)	267	243	239			
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	対象者1人 当りの経費(円)						
	団体名⇒						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)
新春のつどい参加者	○	目標値	410	420	430	430	430
		実績値	415	350	323	353	
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退							

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止
秘書事務	5,890千円	①効率性○ ②妥当性○ ③有効性○ ④公平性○	⇒ □A ■B □C □D □E	事業の概要: 市長及び副市長にかかる秘書事務	
交際費	555千円	①効率性○ ②妥当性○ ③有効性○ ④公平性○	⇒ □A ■B □C □D □E	事業の概要: 市長及び副市長にかかる交際費の執行管理	
市政功労者表彰事業	1,211千円	①効率性○ ②妥当性○ ③有効性○ ④公平性○	⇒ □A ■B □C □D □E	事業の概要: 本市内において市政の振興等に功労のあった方を表彰する	
頌徳会等事業	840千円	①効率性○ ②妥当性○ ③有効性○ ④公平性○	⇒ □A ■B □C □D □E	事業の概要: 頌徳会総会の運営、新春のつどい負担金の執行管理	
名誉市民事業	6,378千円	①効率性○ ②妥当性○ ③有効性○ ④公平性○	⇒ □A ■B □C □D □E	事業の概要: 名誉市民選考委員会の運営(名誉市民が選考された場合は式典費用)	

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年4月19日～5月7日にかけて開催予定の「鎌倉市名誉市民 平山郁夫追悼展」の実施。 10月から予定されている秘書業務従事者派遣の準備。 市内在住の体操選手が第30回オリンピック大会ロンドン大会で銀メダルを獲得したことを受け、「鎌倉市市民栄誉表彰」制度創設を進める。 			取組の結果	■解決 □未解決
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> 「鎌倉市名誉市民 平山郁夫追悼展」については、委託先及び会場の鎌倉芸術館などと連絡・調整を密に行うとともに、会期中は必ず1名の職員を配置するなどし、円滑な実施に努めた。 秘書業務従事者派遣の導入については、マニュアル等を整備するとともに、入札による業者決定後は、契約業者及び派遣予定者との面談を行うなど円滑な導入に努めた。 「鎌倉市市民栄誉表彰規則」を制定するとともに、市政功労者表彰式と同日の11月3日に市民栄誉表彰式を開催した。 				
未解決の課題					

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	※□事業完了
	➡	②妥当性 ○		↓ B	課長等名
		③有効性 ○			秘書広報課長
		④公平性 ○			奈須 菊夫
これまでさまざまな課題に対して、適切と考えられる方法で課題解決に向けた取組みを行ってきた。今後とも適正な事務の執行に努めていく。					

(2面) 個別事業の評価

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	評価⇒適切=○、要改善=△(1面の評価の視点を参照)			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
秘書事務	主な個別事業	550 事務補助嘱託員報酬	1,320	1,320	○	○	○	○
		550 来客贈呈用記念品購入費	374	109	○	○	○	○
		550 市長賞副賞カップ購入費	341	341	○	○	○	○
		550 事務補助嘱託員費用弁償	132	48	○	○	○	○
		550 秘書業務従事者派遣委託料	1,847	1,177	○	○	○	○
		550 自動車借料及び電子複写機等賃借料	750	511	○	○	○	○
		550 全国市長会負担金	778	705	○	○	○	○
		550 全国市長会関東支部負担金	40	40	○	○	○	○
		550 神奈川県市長会負担金	596	596	○	○	○	○
		550 神奈川県都市副市長会負担金	15	15	○	○	○	○
550 全国青年市長会負担金	30	30	○	○	○	○		
交際費	主な個別事業	551 交際費	1,000	556	○	○	○	○
市政功労者表彰事業	主な個別事業	554 市政功労者表彰記念品購入費	424	557	○	○	○	○
		554 市民栄誉表彰記念品購入費	0	32	○	○	○	○
		554 市民栄誉表彰記念品料	0	50	○	○	○	○
		554 市政功労者表彰式祝賀会食糧費	250	200	○	○	○	○
頌徳会等事業	主な個別事業	555 頌徳会総会懇親会食糧費	650	302	○	○	○	○
		555 新春のつどい負担金	684	500	○	○	○	○
名誉市民事業	主な個別事業	1158 名誉市民選考委員会委員報酬	102	0	○	○	○	○
		1158 名誉市民追悼展実施等委託料	5,231	5,230	○	○	○	○
		1158 名誉市民追悼展会場使用料	1,229	1,148	○	○	○	○